

まにわ

真庭の3校を存続させよう

High School



18
ページ
に掲載

高校生
の意見

高
校
生
37
人

と
意
見
交
換



①班に分かれてフリートーク 真庭高校は議場で



②意見を付箋に書き模造紙に貼る作業 萩山校地



③各班の代表が発表 記念撮影して終了 勝山高校

資
格
を
取
得
し
帰
る

働
く
場
所

集
う
所

今回で3回目となる市内高校生と議員が意見交換会を行いました。11月7日真庭高校生12人と総務委員、勝山高校生15人と文教委員、11月15日勝山高校萩山校地生10人と産建委員がそれぞれ意見を交わしました。高校生から頂いたご意見は今後の議会活動に活かして参ります。18ページに意見を掲載しています。

令和7年1月17日現在

写真集

くらしの
循環センター

愛称まにくるーん



収集車 業務委託



生ごみ収集箱4,000個



家庭用水切りバケツ19,000個



手作業で生ごみ以外の異物を取り除いている



液肥を田んぼに撒く作業 鹿田



自由に使える液肥タンク 市内9カ所



バキュームカーによる搬入

大金をかけた
事業です
皆で協力しよう

9割のし尿は処理して隣接の浄化センターへ送る



浄化センター

ガスホルダー(ガス貯留装置)
メタンガスを貯留し発電に利用する

メタン発酵槽
生ごみ、し尿等をメタン菌で発酵させ
バイオ液肥とメタンガスに再生する

バイオ液肥濃縮施設
肥料成分の濃度の違う2種類
のバイオ液肥をつくる

生ごみ等資源化施設
生ごみは異物を除去して細かく碎き、メタン発酵槽に送る。し尿と浄化槽汚泥は固形分と水分に分け、固形分はメタン発酵に、水分は希釈して下水道に放流する。

【主な内容】
今回の一般質問は16人

●議案9件を可決

●請願1件を採択

●発議3件を議決

●補正予算8件を可決

●陳情1件を採択

予算は千円単位ですが、見やすくするため
万円表記にしています。千円を四捨五入。

令和6年度12月補正予算

11億2,097万7千円を可決しました
一般会計補正後 379億9,912万円

	12月補正額	補正後予算額	対前年比
一般会計	11億2,098万円	379億9,912万円	2.7%増
特別会計	1億5,583万円	126億4,646万円	1.6%減
公営企業会計	584万円	78億6,744万円	2.5%増

令和6年度補正予算会計別集計表

単位:万円

会計名	12月補正額	12月補正後予算額
一般会計	112,098	3,799,912
国民健康保険特別会計	0	492,868
後期高齢者医療特別会計	832	94,775
介護保険特別会計	13,042	651,314
介護保険特別会計 (介護サービス事業勘定)	536	5,983
浄化槽事業特別会計	0	4,212
津黒高原観光事業特別会計	0	2,835
クリエイト菅谷事業特別会計	0	764
温泉事業特別会計	1,173	11,895
特別会計合計	15,583	1,264,646
水道事業会計	484	229,390
下水道事業会計	100	375,599
国民健康保険湯原温泉病院 事業会計	0	181,755
公営企業会計合計	584	786,744
合計	110,317	5,851,302

※表はいずれも千円を四捨五入しているため、合計に差異が生じている箇所があります

0.02万6千円を増額しています。

歳入は、国庫支出金のほか新庄村及び勝山高校同窓会からの寄附金があり、ゆめ学び創造寄附金1,948万3千円を計上。

国等の補助による事業、地方債の繰上償還や災害復旧事業等を増額しています。基幹業務システムの標準化に向けた接続回線の構築を行う基幹業務システム標準化・共通化事業263万4千円を計上。児童発達支援事業の利用者増加に伴う障害児通所給付事業804万2千円を計上。教師用教科書、指導書等を購入する教科用図書採択事業2,546万7千円を計上。令和6年台風10号等の豪雨により被災した農地等を復旧する災害復旧費4,099万9千円を計上。物価高騰の影響を受けている市内の住民税非課税世帯を支援するため1億7,948万3千円を計上。



購入予定の指導図書等

一般会計 主な歳入・歳出

教師用教科書、指導書等購入
2,564万7千円計上



愛称 りむ 川夢・勝山河川広場の公園条例など

【真庭市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例の一部改正】

普及拡大されつつある送配電網に接続した蓄電池について、本条例の適用対象とすること、周辺の地域住民の理解とともに推進していくため、条例の所要の改正を行うもの。

【真庭市都市公園条例の一部改正】

勝山地内にある都市計画区域内の河川公園を真庭市の都市公園として位置づけ、市民の水辺の憩いの空間を確保し、地域価値を向上させるため、条例の所要の改正を行うもの。

【真庭市学習交流センター条例の制定】

青少年を中心とした学習、研修等の活動を通じて、地域の人々のつながり及び関わりを

作り出し、地域課題を解決する人材を育成する社会教育の総合的な拠点として真庭市学習交流センターを設置するため、条例を制定するもの。



令和6年11月24日 川夢オープニングイベントの様子 勝山

陳情

介護保険の訪問介護基本報酬引き下げの撤回を求める意見書の提出

【採択】

介護報酬の引き下げにより、地域で訪問介護を支える小規模・零細事業所が経営難に陥って撤退し在宅介護の基盤が壊滅的になる恐れがあるため、介護保険の訪問介護基本報酬の引き下げを撤回することを求め、国に対して意見書を提出するもの。審査の結果、全会一致で採択し意見書を内閣総理大臣など3人に提出しました。



建設中の真庭市学習交流センター 蒜山上長田

請願

「再審法」(刑事訴訟法の再審規定)の改正

【採択】

検察・警察が持っている未開示の証拠を、裁判長の指示の有無にかかわらず、開示する法制度に改定すること及び裁判所が再審開始決定をすれば、警察庁が異議申し立て・上訴できない法制度に改定することを求めるため、意見書を国の関係機関へ提出するもの。審査の結果、全会一致で採択し意見書を衆参両議長など4人に提出しました。

傍聴

真庭市議会の本会議・常任委員会を傍聴してみませんか。傍聴を希望される方は、議会開催中に市役所4階にお越しください。議場の入り口で、住所、氏名、年齢をご記入いただければ、簡単に傍聴席へお入りいただけます。

総務常任委員会

本委員会は、9月11日、10月23日、11月13日に開催し各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

《総務部》

■日直の見直し

総務課から「日直の見直し」について、説明がありました。

真庭市は現在、宿直業務を本庁で、日直業務を本庁と全ての振興局で実施していますが、日直業務は、庁舎によって業務量が以前より少なくなってきたため、見直しの検討を進めてきました。

見直しの目的は、dXを進めることで、効率化した市民サービスの提供と、職員のワークライフバランスの向上に取り組むためです。日直の現状は、本庁舎と全ての振興局で職員が2名体制で、土日祝日に対応していますが、公民館や図書館の利用者を除くと、死亡届などの戸籍の届出が、多い振興局で2週間から3週間に1件、少ない振興局では4か月に1件といった状況です。

今回の見直しにより、日直は本庁



日直の様子 本庁舎宿直室

舎と蒜山振興局の2庁舎に集約し、本庁舎については、職員1名増員の3名体制を考えています。日直の見直しと合わせ、火葬場予約システムの導入を予定しています。

このシステムは環境課がdX化に取り組み、開発したもので、火葬場の予約のほかに、埋火葬許可等に必要な情報を、葬儀会社が直接入力できるようにになり、今まで自署であった箇所を減らして、届出に來られた人の負担軽減と、日直での届出時間の大幅な短縮を図ります。

委員長	加藤 大悟	委員	小田 康文
副委員長	西田 文子	委員	庄司 史郎
委員	岩本 壮八	委員	長尾 修
委員	緒形 尚	委員	中尾 哲雄

また、公民館機能をあわせ持つ振興局もあるので、そこには新たに管理人を設置する予定です。市民の方へは、広報紙をはじめ、MITや告知放送などで周知し、令和7年4月からの実施を考えています。

問 各振興局の日直がなくなり、休日、祝日に死亡届を出したいときに、他地区から久世に來なければいけない。来れない場合、死亡届は月曜だが、火葬場の予約は、業者が事前してくれるというシステムを作る、ということでしょうか。

答 葬儀会社が直接、火葬の日時を予約できるシステムを導入する。ただし、出棺の日時まで許可申請する必要がある。

《総合政策部》

■市制20周年記念誌

秘書広報課から「市制20周年記念誌の製作」について説明がありました。令和7年3月31日に市制20周年を迎えます。これを一区切りとして、市政20周年記念誌の製作に取りかかっています。

製作業務はプロポーザルで、公募で提案があった事業者と委託契約を締結しました。

14名の委員による編集会議を設置し、11月12日に最初の編集会議を開きました。編集会議では、記念誌製作に向けた考えなどをまとめた基本方針案に対して、様々な御意見をいただきました。製作期間は令和7年度いっぱいまで。今後編集会議は4、5回程度の開催を予定しています。

編集会議は報道機関にもオープンに開催する方針で、MITの協力を受け、20年の節目を番組に取り上げてもらいなども予定しています。

こうした記念誌の製作過程をなるべく多くの市民の皆様を知ってもらい、市政20周年の機運を高めていくことに努めていきます。



20周年記念誌編集会議 本庁舎

文教厚生常任委員会

委員長 妹島 弘和 委員 氏平 篤正
副委員長 黒川 愛 委員 大月 説子
委員 浅野 和昭 委員 古南 源二
委員 伊賀 基之 委員 福島 一則

本委員会は、9月12日、11月14日に開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

《健康福祉部》

■子育て支援アプリ導入の進捗

子育て支援課から、子育て支援アプリ導入の進捗状況について説明がありました。

妊娠から出産、子育て期までの書類各種手続きをデジタル化し、子育て世代の負担を軽減するため、「真庭市はぐくみアプリ」を導入しました。10月から母子手帳機能・情報配信機能の運用を開始し、1月からアプリに電子申請機能を追加し、本格稼働します。



真庭市はぐくみアプリ イメージ

問

母子健康手帳のアプリ化は賛成するが、事故等でスマートフォンが使えなくなった時、データ保存はどうなるのか。

答

入力した情報はサーバーでバックアップしており、利用者側の事故等により無くした時も復活できる。

《教育委員会》

■学校給食費

教育総務課から、学校給食費について説明がありました。

近年における急激な物価高騰により、現行の給食費においては、食材の安定確保が難しくなってきたいます。安心安全で栄養バランスのとれた水準を維持するため、令和7年度学校給食費の改定に向け、消費者物価指数の上昇などの予測を立て、給食費を算出しました。1食当たり小学校320円、中学校360円。学校給食審議会に諮問し、10月24日に審議会から価格改定案について妥当であるとの答申を受けたと説明がありました。

問

30円の値上げの理由は物価上昇によるものか。また、現在

の物価高騰対策の20円支援は今後どうするの。

答

消費者物価指数や食品価格等に基づいた値上げである。令和7年度も物価高騰対策の拡充を検討している。

《生活環境部》

■一般廃棄物資源化等計画改定

環境課から、真庭市一般廃棄物資源化等基本計画の改定について説明



分別を進め可燃ごみの減少へ クリーンセンターまにわ

源化等基本計画の改定について説明がありました。

今回の改定は、「真庭市くらしの循環センター」の稼働と、現行計画が令和7年度で満了するため、計画の改定を進めています。現状を整理し、現計画の評価を行い基本方針を定めていきます。焼却施設の集約化など、ごみ処理を取り巻く環境が大きく変わる中、真庭市廃棄物の処理及び清掃に関する条例の規定に基づき、真庭市廃棄物減量等推進審議会に諮問し、パブリックコメントを経て、取りまとめていきたいと説明がありました。

問

生ごみの収集が始まり、順次広がっているが、可燃ごみがどのくらい減っているのか。

答

10月のクリーンセンターまにわでは、今までの可燃ごみの量と比較して約1割減っている。

問

可燃ごみの減量目標が60%と記憶している。目標どおりならクリーンセンターまにわの処理能力を超過した場合、外部処理委託に伴う費用は発生しないのではないか。

答

現状では厳しいと考えている。

産業建設常任委員会

本委員会は、9月13日、10月11日、11月15日に開催し、各担当部局の出席を求め、調査研究を行いました。

《勝山振興局》

■「勝山ご当地グルメ開発事業」 勝山スイーツ開発

勝山振興局から、「勝山ご当地グルメ開発事業」勝山スイーツ開発について、説明がありました。

この事業は「森の芸術祭 晴れの国・岡山」開催期間中、真庭市を訪れる観光客の皆様へ古都「勝山」の良さを視覚と味覚で感じて、ファンとなつていただくため、勝山高校生と勝山文化往来館ひしおがコラボレーションして取り組んだ企画です。

森の芸術祭の期間限定で、ひしおの喫茶スペースにおいて販売し、例年をはるかに上回る1,215名（11月11日現在）の来客がありました。町並み保存地区へも足を運んでいただけたと思います。

問

経済効果もあつたと考えるが、これで終わりにするのか、これから先に展開があるのか。



開発に携わった高校生とひしおのスタッフ

答

この企画はあくまでも第1弾という認識で、引き続き勝山を盛り上げる意味で企画していきたい。

《建設部》

■北町公園施設長寿命化計画

まちづくり推進課から、北町公園施設長寿命化計画について、説明がありました。

長寿命化計画は、北町公園内の施設老朽化に対して調査を行い、既存ストックの長寿命化及び、ライフサイクルコストの低減や予算の平準化などを図ることを目的とした計画です。



解体が予定されている久世体育館

計画を策定することにより、健全度が低く、緊急度が高いと判断された久世体育館や典武館などの建て替え時に、国の社会資本整備総合交付金のメニューである公園施設長寿命化対策支援事業を活用することが可能となります。

問

北町公園、久世高校跡地、公民館もあり、総合的にやるべきと思っている。この予算の関係で2029年に約26億円、それから2030年に23億円という計画がある。内容を詳しく教えていただきたい。

答

計画を立てる上で仮に入れている、この年度に実施が決まったわけではない。

《産業観光部》

■造林地におけるシカ被害の現状と対策

林業・バイオマス産業課から造林地におけるシカ被害の現状と対策について説明がありました。

今年度から、再造林地シカ等苗木食害対策実証事業に取り組んでいます。鉄山地区の市有林内に防護施設のモデル林を設置して、防護施設の耐久性、コスト、適地性の実証事業を行い、低コストで効果的な防護対策を地域に普及・定着していこうというものです。

問

コストが相当かかると思われるが、どうなのか。

答

haあたりの試算で、施工費含めて防護柵では20万円以上かかる。植栽本数、下刈り回数を減らすなどトータルコストをいかに下げることが重要となる。



シカから苗木を守る防護柵 鉄山

議会改革道半ばなれど不断の努力を続ける



小田康文議長

新年おめでとうございます。
市民の皆様におかれましては、希望に満ちた輝かしい新年をお迎えのことと、心からお慶び申し上げます。
昨年元旦に石川・能登半島地震が発生するなど、いつどこで災害が発生してもおかしくなく、災害に対する日々の備えが大事であることを痛感させられました。
また早稲田大学マニフェスト研究所が主催する議会改革度ランキング調査で調査に回答した全国1,562議会中、27位の評価でしたが、情報共有と住民参画の点で評価が低く、満

足できるものではありませんでした。
議会改革は市民の皆様のために取り組むものであり、市民の皆様が議会に関心を持ち、見てもらうことにより生まれた様々な意見が合理的に市政に反映されることが、より暮らしやすい街づくりにとても大事なことで、今後も議員全員で一致団結し、鋭意取り組む所存です。
結びに、市民の皆様にとりまして、本年が実り多き年となり、明るい一年になりますよう、議員一同、衷心より祈念申し上げ、新年のご挨拶いたします。(挨拶文・小田康文議長)



妹尾智之副議長

真庭市議会
12月定例会

一般質問

12月定例会の議事録は令和7年3月上旬から閲覧できます
二次元バーコードをスマホ等で読み取ると、一般質問が視聴できます。
一般質問の記事は、個人質問は800字以内で、質問した議員本人がまとめています。

問



柴田 正志

生ごみの分別回収の状況は

生ごみの分別回収の大きな目的は可燃ごみを減らし、3つあるクリーンセンターを一つにして、ごみ処理に必要な経常経費を削減することと理解をしている。来年4月より焼却施設はクリーンセンターまにわだけ

答 弁 者



三ツ宗宏教育長



太田昇市長

になる予定となっている。①9月から始まった生ごみの分別回収は約3か月が経過しどういった状況なのか。②外国人居住者への説明や対応はどうなっているのか。

答 太田市長

①生ごみの分別協力量率は60%以上、回収量は2,100トン以上を目標としている。月単位の目標は175トン以上であるが蒜山地区はまだ始まっていない。蒜山地区を除いて79トンと目標の半分以下で厳しい状況にある。この状



北房イルミのゴミ分別 上水田

況ではクリーンセンターまにわの処理能力内に可燃ごみを減量できないため、外部搬出による処理とせざるを得ず、経費がかかることになる。目標達成のためには市民と市内事業者の協力が不可欠である。今の普及啓発では不十分な状況である。職員一人一人が広報マンとなり啓発を行っていく。

②現在でも生ごみ分別表は英語・中国語・韓国語・ベトナム語の外国語版を作成して対応している。外国人を雇

問

小規模校の魅力化に向けて

少人数学校の将来の学校維持はどうなるのか教育環境はどうなのかといった不安を持っている人がいるかもしれないが、少人数には少人数だからできる教育があり魅力がある。小規模校のさらなる魅力化に向けて何か考えているか。

答 三ツ教育長

学校規模のいかに問わず地域とつながった探究的な学びを大事にしている。極小規模校ではオンラインや直接交流で学びと体験の場を広げている。かつて学校ごとに行っていた行事を複数校で行う取り組みも生まれている。

浅野 和昭

問



自動採点集計ツール

自動採点ツールは教員の負担軽減と共にヒューマンエラーによる採点ミスを防ぐ。中学校レベルの数式や記号、英単語、英作文も採点できる。記述問題もAIによる採点補助機能がある。

教員1人当たり年間約25時間の採点業務時間を削減できた事例がある。成績分析を行い、個人成績を累積し、児童・生徒の個別の苦手部分が明確になり、個別最適学習対策を簡単に行え、事後指導につながる。

同じ学校の同級生や真庭市内の同級生の結果から何%の人間が正解した問題か、分布図、平均点、自分のレベルが分かる。難易度の低い問題を間違えたのか、難易度の高い問題を正解したのか、苦手分野を理解して正解したのか、得意分野を間違えたのか、自分自身を客観的に見る事ができる。



自動採点集計 (株)シンプルエディケーション提供

正答率の高い問題を間違えた、あるいは正答率の低い問題を正解した、ミスをしたのか、自分自身でそういった分析が可能になると考えている。

小学1年から中学3年まで公立学校の担任はほぼ毎年変わる。新たな担任はこのデータを見れば、学習面において児童・生徒の得手不得手は年度当初見る事ができる。

さらに細かく分解し、出題の意図や狙いなどを分析して学習のアドバイスをしやすくていいのではないかと考えている。

今後の予定について、教育長に伺う。

答 三ツ教育長

教員の負担軽減になる可能性があると同時に、子どもの学びを支える事も言われている。

学習結果を見取するという事は、教員が採点を通して個々の回答を見ながら、自分の授業での不足や、あるいは児童・生徒のつまづきを確認しているというのも事実だ。学校が選択して自動採点システムを充てているところもある。その取り組み状況も把握しながら、効果について確認したい。

森脇 正和

問



学校・こども園等のあり方は

現在、真庭市は、小規模校存続の方針を取っている。今後、出生数の減少により子ども数が減る中、持続可能な真庭を維持する意味において、小学校、中学校、こども園、保育園の存続をどう考えているか市長、教育長に伺う。

答 太田市長

子どもの学びと生活の環境を一番に考え、保護者や地域の人々の思いを尊重しながらやっていく。

答 三ツ教育長

真庭市全体の教育環境、加えて市の財政状況を多角的に考えて検討していくべきだと考えている。

問

高校魅力化

① 真庭市ゆめ学び創造基金の創設が決定し、高校生チャレンジ支援、高校生ビジネス講座受講支援などに費用の一部負担を打ち出したが、その他の動きを伺う。

② 建設中の勝山高校蒜山校地の寮には、真庭市内の生徒は、入れないと聞いた。市南部の中学生が勝山



高校魅力化に向けて 勝山高校蒜山校地

高校蒜山校地を希望しても進学できないと思うが考えを伺う。

答 太田市長

① 提案を受けており、令和7年度当初予算をつけていく。

答 三ツ教育長

② 通学が困難な生徒の入学、寮に入って生活することは学校に入学希望者の通学条件を踏まえた対応を求める。

吉原 啓介

問



まにこいんのスーパーアプリ化

市はまにこいんのスーパーアプリ化を通じて何を目指し、どのような効果を想定しているのか。

また、どういうミニアプリを搭載していくのか、検討に市民の参加できる場、機会を作って意見をもっと反映させべきだと思うが。

答 太田市長

まにこいんはデジタル地域通貨ということでスタートしたが、スーパーアプリ化は、単なる決済アプリとして収益事業のみ行うのではなく、まにこいんを市民の生活に役立つ情報インフラとして発展させ、市内外の利用者同士をつないだり、市民の市政参画のためのツールとして、身近なプラットフォームになるよう、そういう充実をしていくということ。

個人認証とか、あるいは行政手続、各種情報取得、AI活用による属性に応じた申

請サポートとか情報発信など、プッシュ型の行政にも使える。

答 木村総合政策部長

市民の皆さんの、そういうものが使いやすいのか、意見も伺いながら、搭載するミニアプリはどういったものを選択していくか、検討を進めていきたい。

問

少子化進行に伴う小中学校の在り方

出生数の減少進行により、今年5月時点の推計に基づくと、2030年の市内小学校の児童数は2024年4月時点の1,969人から1,369人まで減少する。このような状況を踏まえ、市の義務教育の環境、質の維持に向け、どのような施策を検討しているのか。

答 三ツ教育長

ここ数年、急激な少子化が進んでいる中で、学校を中心とした教育環境をどう考えていくのかというのは、真庭市の持続に関わる重要な問

題と認識している。

厳しい現実には直視しながら、保護者、地域、子どもたちと一緒に考えて、最適解を探っていきたい。



魅力ある義務教育環境をどう維持するか

伊賀 基之

問



少子化対策として、給食の無償化を

真庭市の子どもの生まれた数は、令和2年度252人令和5年度202人と急激に落ち込んでいる。不安定雇用の多い若い世代では物価高騰に賃金上昇が追いつかない。市の子育て支援アンケートでも、取り組むべき施策として「給食費の軽減・無償化」



楽しい給食 教育総務課提供

は3番目に多い。昼ご飯はどこでも食べるからという話もあるが、市は高3まで医療費無償化をしている。病気やケガをしない子どもはいない。同じことである。社会全体で子どもを育てていくという考えでなければ、少子化は克服できない。①給食無償化は早急に進めるべきである。②国の臨時の重点地方支援交付金で、軽減の拡大は考えられないか。

答 太田市長

①現時点で、市単独で無償化することは考えていない。学校給食法で食材以外のものは全部公費負担である。教育・子育て施策は国全体で考えることで、財政力の格差に

よって異なってくるのは好ましくない。そういう中で、就学援助とか1食20円の支援をしている。人気取りの施策をするつもりはない。②給食費を上げずに行こうというところまでは、考えている。

問

増えている空き家への対策強化を

市内で空き家が増加している。①空き家財道具等撤去補助金は9月で、空き家活用定住促進補助金は10月で、予算の上限に達した。予算の増額が必要ではないか。②空き家活用定住補助金は、ボイラー・エコキュート等は対象外。見直しが必要では。③空き家除去補助金は上限50万円で、平成26年度から変わっていない。見直しが必要では。

答 太田市長

①額を上げるとか検討する。②太陽光発電、エコキュートは他の補助金がある。移住しやすいように考えていく。③補助額見直しの段階ではない。十分検討する。

加藤 大悟

問



ツキノワグマ出沒対策によって対処

ツキノワグマの出沒対策について、このツキノワグマが里山ないし町なかに出沒した場合、真庭市はどのような対策、対応を考えているのか。また、市民の皆様に対し、実際その場面に遭遇した場合、どのように対応すべきかを啓発しているのか尋ねる。

答 太田市長

対策としては、岡山県第6期の第二種特定鳥獣管理計画に基づいて作成されている岡山県ツキノワグマ出沒対応方針によって対処している。市民から通報があった場合には、県の特定鳥獣専門指導員と連携して現地確認を行って、警察、教育委員会、関係部局に情報を出して、安全を確保するという対応をしている。

現地確認後に、そのクマの痕跡と確定した場合には、これも情報共有を行って、告知放送等で注意喚起もしている。

問

社会起業家育成プログラムを開催

真庭市出身大学生の市内へのUターン就職率の低下とその対策について、岡山県出身30.9%と調査開始以降最低、県は地域の活力に直結する若者をつなぎ止めようと地場企業の魅力PRに懸命であるとの報道があった。真庭市において、現状はどうなっていて、どう対策を考えているのか。

答 太田市長

真庭出身の大学生の市内Uターン就職率は県でもこれについてのデータはありません。市内企業を支援するため、インターンシップ奨励支援事業補助金を平成28年度から実施して、これまでに14社58名がこのインターンシップに参加している。真庭を離れた市内の高校生に対しても昨年度からManiwa Job Fairを開催し、市内企業はこんなところがあるという紹介を、また訪問してもらい企業との関係をつくっていく。



首都圏鉄道路線図

庄司 史郎

問



ジビエ処理の体制整備を

市においては、これまで有害鳥獣による農作物被害を防ぐ目的で様々な対策を実施してきたおり、特にシカについては、捕獲頭数が増えジビエカーによる処理能力が追いつかない状況が生まれてきていると聞いている。苦勞して捕獲したものがジビエ

工として活用されないようでは、猟友会の皆さんの協力する意欲も無くなってくるのではないかと懸念される。捕獲したものがジビエとして活用される体制を整備する必要があると考えるが市長の見解は。

答 太田市長

シカの捕獲頭数は本年度過去最高であった令和5年度を超えることになると思う。ジビエカーでの処理頭数は、導入当初の処理頭数を大幅に上回っており、一台のジビエカーではもう限界というのが現実である。ジビエカーやコンテナ型の可動式の解体処理施設などの導入を含めて、一方では猟友会の負担軽減だとか、もっと有効な活用はできないかとか検討しつつあるが、いいアイデアが出ていないというのが現状である。

問

畜産業に対する経済支援策は

畜産業は、この間の物価高騰による飼料代や電気料金、ガソリンなどの高騰によ

り、非常に厳しい経営環境に置かれている。本来まず、国や県が有効な支援策を講じるべきであると考えるが、市としても支援策を講じることはできないか。

答 太田市長

畜産業を取り巻く環境は、非常に厳しいということ、は、そのとおりである。国策としての食料自給率の向上を前提にしながら、飼料とか肥料とかの自給率を高める対策を構造的につくらないとどうしようもないというのが現状である。市として何ができるかということで、国や県の対策の中身を見ながら、必要な対策をしていきたい。



飼料高騰などにより厳しい経営環境にある酪農 中河内

森田 敏久

問



高齢者一人暮らし世帯支援

一人暮らしの高齢者の増加に関し今後起こる課題にどう対処していくか。①医療、介護サービスの人材不足にどう対応していくのか。②入院、入所等の意思決定支援をどうするのか。③収支管理ができず、生活費が枯渇する懸念があるがどう対応していくのか。④身寄りのない



高齢者一人暮らし世帯支援の核となる地域包括支援センター

高齢者支援、防犯対策の対処は。⑤身寄りのない高齢者は入院・入所等の身元保証はどうするのか。⑥死後事務の処理はどうするのか。⑦身寄りのない高齢者は不安、孤独になりやすい。どう解消していくのか。⑧地域包括センターの役割が重要になってくる。十分な人員配置をする予算措置の考えはないか。⑨所有者不明の土地・建物が増えることが想定されるが、どう対処していくか。

答 太田市長

①看護師確保は令和2年度から奨学金制度を作り、介護士確保は介護保険事業所と外国人材の雇用、高校で直接生徒に生の声を届ける、小中高校生に介護の仕事の魅力、やりがい伝える動画を作成した。②厚労省の示したガイドラインの趣旨を踏まえて本人の意思を尊重し意向を確認するよう努めている。③社会福祉協議会実施の家計相談、日常生活自立支援事業、後見人制度の利用を考えている。④真庭市権利擁護推進協議会を設置し、消費生活相談を含め関

係機関と連携強化する。⑤入院・入所が身元保証がないことで、できないことがないよう成年後見制度を利用し権利擁護支援を行っていく。⑥墓地埋葬法、行旅法により死亡地の市町村長が埋火葬を行う。⑦地域に居場所があり、安心して住み続けるため集いの場がある。⑧相談件数は6000件を越えており、予算措置も十分尊重しながらやっている。⑨自らの財産をどうしたいのかアドヴァンス・ケア・プランニングの普及啓発に努める。

西田 文子

問



サルに発信機を付けて行動調査する

山間部が多く、耕作放棄地が増え、身を隠す場所が増えている。サルの行動を知るため、発信機を取付け、行動を調査し対策を。

答 太田市長

県の調査で真庭市内のサルの群れは16群ある。GPSは

県で調査を実施しているが、真庭市でもGPSを付けてサルの行動を追跡しており、これが本当に有効。調査は県がやらないから真庭市もしないということはない。岡山県に調査を強化するように私が進言していく。

問

液肥が臭うのは当然

真庭市くらしの循環センターが来年本格稼働する。①液肥や濃縮液肥は散布時に臭気はないのか。②濃縮したものどれくらい臭いで、しないものがどれくらい液肥ができるのか。③残りの水分はどこに行くのか。

答 太田市長

①液肥散布時の臭気は、一定の臭いがするのは当然。市販の液肥も臭う。肥料そのも

のも臭いが全くないものではない。

答

木林産業観光部長

②一次濃縮が400トン、二次濃縮が400トン。一次の方はタンクに使う。二次濃縮ではドローンで撒いていく。

答

池田生活環境部長

③隣の落合浄化センターの方に流入させる。



落合浄化センターの隣に完成した真庭市くらしの循環センター 赤野

岩本 壯八

問



生活の中から世界貢献を

どの家庭でも購入するペットボトルだが、市内全域でリサイクル資源として分別回収が行われ、再資源化されている。

一方、プラスチック容器包装類として回収されるペットボトルキャップは、樹脂・ペレットに生まれ変わり、燃料用などに再利用される。

同じように再資源化されているが、ペットボトルキャップを回収業者に提供すれば、売上金の一部を「認定NPO法人世界の子どもにワ



ワクチン不足で亡くなる子どもは1日4,000人

クチンを日本委員会に寄附金として提供され、ワクチンを購入し、最貧国などに提供できる仕組みがある。市が主体で各家庭からもう一度復活させ、世界でワクチンがないために命を落とす子どもたちを救っていきませんか。

答 太田市長

キャップの買取り価格が下落し、回収業者がほとんどいなくなり、運動の仕組み自体がもう成り立たない。

問

観光行政の在り方は

①インバウンドの個人旅行やバックパッカーのような観光客に対し、地域の魅力発信するツール、観光・宿泊施設が言葉の壁に対する対策、外国人に対する安心安全を確保する危機管理など、行政はどう取り組んでいるか。②旅行者を受け入れる側の地域が主体となり、地域独自の観光資源・体験・文化を活用した旅行商品を発掘し、地旅ツアーとして地域の魅力アップを。③観光に特化した人材を、長

期的視点で投資すべきではないか。

答 太田市長

①写真を使い食を書き、アクティビティ、祭りや工芸品などコンテンツを入れ、英語、中国語、韓国語版を用意。8言語対応サイトで緊急連絡ができるページを設定している。②地元市民との交流は大事。また来たいと思う観光地をつくりたい。③次年度以降も、観光地中核人材をつくり出す伴走支援事業も計画している。

緒形 尚

問



インバウンド誘客に積極的に取り組む

真庭観光局を中心に台湾・香港・韓国を重点ターゲットに定めインバウンド誘客の取り組みを強化している。台湾をインバウンド重点市場と位置付け、昨年10月に3日間、太田市長自ら台湾へのトップセール・プロモーション活動をされた。『岡山空港便を

持つタイガーエアー台湾本社を訪問し、台湾人旅行客に選ばれる観光素材について意見交換が行われた。また、現地ホテルの特設会場で、旅行会社やメディア関係者、インフルエンサーなど75名を迎えて観光説明会を行った。出席者から旅行商品の開発を検討する意向が出て手ごたえを感じている。引き続き市の認知度を向上させ、インバウンド誘客に積極的に取り組んでいく』と伺った。

今後インバウンドの満足度向上に向け、既存プログラムの一層の磨き上げと高付加価値化、新たなプログラム

の開発にも取り組んでいく必要があると思うが、今後どのように考えているのか。どのようなことが課題となるのか。市長に伺う。

答 太田市長

美作国観光連盟の提案型広域連携事業で、周辺市町村と連携の下に韓国、台湾の旅行社を招聘した視察ツアーを実施している。外国人宿泊者数で見ると、昨



台湾でトップセールス・プロモーション活動する市長

751人、今年は10月時点で1,000人を超え確実に伸びている。真庭SDGsバイオマスツアーも新たな顔になっている。地域観光新発見事業の採択を受けて、「まにわ発酵's」をコンテンツにした高付加価値ツアーに取り組んでいる。

インバウンドの課題は、観光アクセスをよくすると、他地域との連携強化が課題である。関係すると真庭市の認知度を上げる、情報発信の強化、魅力あるツアー、プログラムの造成、販路開拓等々、観光局と観光事業者と一緒に取り組んでいく。

妹島 弘和

問



孤立可能性集落に独自の防災計画を

岡山県は大規模災害時に道路の寸断などによって孤立する可能性のある集落が、最多の新見市に次いで、真庭市では110か所が存在しているといる。孤立の可能性がある集落にはその地区独自の防災計画が必要ではないか。市長の見解を伺う。

答 太田市長

地域住民が自主的に防災計画の案を作つて、それを市の防災計画にも反映させていく。まだ地区防災計画を作った所はないが、広域の真庭でそれぞれの地区が災害防止のために最大限していくこと、それなしにはできないと思う。できる限り作成を支援していきたい。

新電力会社の市民へのメリットは

今年度末を目標に設立す

るとしている地域新電力会社の資本金は4千万円であり、真庭市はその51%を出資する。新電力会社の事業により市民にメリットはあるのか。市長の見解を伺う。

答 太田市長

目的はエネルギーの地産地消を目指していくこと。バイオマス発電とか太陽光と多様な再生可能エネルギーを市内で発電して、市内で使つて、市内でお金を回していくという、そういうことにしていきたい。

先行の自治体では、市民向けに従来の電気代よりも安価なプランの提供とか利益の一部を子育て支援、地域交通の支援に充てている所がある。みよまスマートエネルギー会社では電力を仕入れて、公共施設や一般家庭等に売電している。一般家庭へは通常の売電メニューに加えて、新婚家庭や子育て世帯により安くとかもやっている。地域新電力会社は単に電力を売り買いの組織ではなく、目的は地域活性化を一面で担う組織ということである。



真庭バイオマス発電所 目木

黒川 愛

問



公園など、遊び場の充実を

①調査に1年かける、その後に予算を積むと、また時間がかかる。来年度、遊具に特化した予算を。②、こどもまんなか社会をつくっていくとき、保護者、子どもにとって、子育て支援課・教育委員会という違いはない。連携が取れてない。③シンボリック

な遊具と全天候型の遊び場は。④公民協働によるポケットパーク整備を広げるために、予算拡充が必要。最初の予算が少な過ぎる。遊具とは別の安全で、日よけの設置を。市がどんどん前に進んで、日よけぐらいは要るだろうという姿勢で。

答 太田市長

①来年度予算をつけないとは言っていない。つけることももちろん検討する。④安全性が最大前提。「完璧に1年、2年で」ではなく、みんなで育ていく。

答 三ツ教育長

②共有を図り進めていきたい。

答 樋口健康福祉部長

②お互いに意見交換しながら今後進めていきたい。③五感を使得遊ぶのも大切だが、ゼロベースから話を進めている。

問

集う場の充実を

①イベントや講演、研修会の重複が多い。重複を避けるような工夫を。協力し合える

体制が必要、相談する場の検討を。②真庭を元気にする活動応援補助金は、3年限度で、4年目以降が大きな壁。イベント重視もあれば、それが地域にとって必要、地域の居場所になっているものもある。ここを分け、そういった団体をどう支えていくのかを検討を。

答 太田市長

①何かできることがあるか、問題意識としてあるので、考えていく。

答 三ツ教育長

①可能な限り調整していく。



子育て中の保護者がSNSで情報発信中

答 木村総合政策部長

②支援策を考えていかなければならない。そういうものがあれば、担当部署と検討を進めていきたい。

伊藤 義則

問



就業環境の整備

「全国過疎問題シンポジウム」に参加し(株)ニッセイ基礎研究所天野馨南子氏の「統計データが示す人口の未来の作り方」という基調講演」を聴いた。総括すると(1)合計特殊出生率が高いエリアほど少子化していないということとは言えない。

岩手県のように出生率が高いエリアほど出生数が減少している。(2)社会減少エリアでは男性よりは女性が減っている。(3)社会減少エリアから減少している人口は20代前半の就職期人口に集中している。(4)若い女性が去り行く社会減少エリアに人口の未来はない。(5)人口の未来は「令和時代の女性に選ばれる雇用にある」(6)地域少子化対策が雇用問題であることと理解して動くエリアが生き残る。東京都の企業は女性採用の努力が突き抜けている。「えるぼし認定企業」(女性の躍進を推進している企

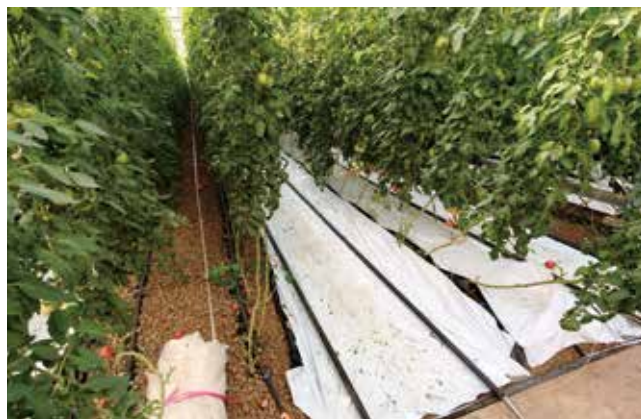
業の48%が東京に集中している。業種・職種に関係なくIT化、DXを推進する、在宅勤務は高い評価を受けている。①真庭市役所自体が、若者・女性が勤めたい職場だと思つか。②家庭で仕事が出来る環境を作ってもらいたい。③新規就農者を呼込む取り組みが必要。

答 太田市長

①今、総合計画を作っているがジェンダーの格差を変えなければ次の社会はないと思っている。③じつは危機感を持っている。真庭市の農業全体の促進を図る観点から、議会からも政策提言を頂いている。農業経営、就農のためのトータルサポートを実現するための受皿組織、真庭版の農業支援サービス事業体構築に向けて市内外の関係者と協議を進める。

答 金谷総務部長

②テレワークの制度はある。所属長が認めれば、多くの職員が実施している。端末も来年度予算を確保し環境を整えていく。



施設園芸団地スマートアグリ宮ノ元 佐賀県嬉野市

入澤 廣成

問



蒜山堆肥センターの作業機械

一般社団法人蒜山農業公社の委託事業は農業作業委託をはじめ、除雪、除草作業委託である。農業生産基盤整備の推進では真庭市の指定管理を受け蒜山堆肥センターの管理運営を行っている。製造販売はバラ堆肥、袋堆肥、堆肥散布である。堆肥散

答 太田市長

布に関しては自走式とトラクター牽引式のマニュアルスプレッダーが2台あるが、古いものばかりで自走式はエンジンを載せ替えている。牽引式のトラクターは購入時JAが所有していたが、平成12年八束村農業公社設立によりトラクター、作業機械を農業公社に譲渡しているが、トラクターは約30年経過し毎年修理を行っている。一般社団法人蒜山農業公社が所有する古くなった作業機械を市長はどのように考えているのか。私は新しくすべきと思う。

農業機械を利用した堆肥散布事業は、農業公社の自主的な収益事業として行っている。設備投資は法人の経営管理に基づいて維持管理をすることで機械の更新等を計画的に行ってもらいたい。しかし、自主事業の関係機械をどうするか非常に悩ましい話である。



24年が経過した自走式の堆肥散布機 蒜山農業公社

ふん尿処理のためには機械も要る、これがなければ最終的な処理はできない。自主事業ではあるが、家畜ふん尿適正処理、そして堆肥の活用、それで循環農業を行っていくという意味で非常に大事な話である。真庭市も公社会員という立場から同じ構成メンバーである晴れの国おかやま、蒜山酪農とともに十分検討して、何とか現実的な解決策を見いだしていきたいと思う。議会においても理解をお願いしたい。

妹尾 智之

問



ヒアリングフレイル 予防を

高齢化社会に入り、いかに健康寿命を延ばしていくかは大きな課題の一つである。世界保健機関は2021年3月3日の世界聴覚デーの前日に初めて聴覚に関する世界報告書を発表した。2050年までに世界で約25億人、4人に1人が何らかの難聴を抱えて生活することになると警告している。ヒアリングフレイルを放置すると周囲との関わりが減って



市内で行われている集いの場 赤野

②加齢によるヒアリングフレイルを放置すると認知症やうつ病になるリスクが高まる心配がある。しかし、早期発見のための聴力検査については新生児聴力検査、学校での聴力検査、職域での聴力検査はあるが、定年後など高齢期には聴力検査の機会がないのが現状である。本市においてもヒアリングフレイルチェックの取り組みを市内で検討

孤立し、認知症やうつ病のリスクを高める懸念があると言われている。例えば大声で話しかけても、言葉として聞き取れない感音性難聴の場合、家族から大声で話しかけられることを心理的圧迫に感じ、聞こえたふりを繰り返して孤立していくケースがある。自治体として、難聴高齢者の早期発見や周囲が正しい知識を身につけることが重要である。以下の点について伺う。

①ヒアリングフレイルの認識と本市における加齢性難聴の早期発見について、どのような取り組みがされているのか。

②難聴の高齢者の早期発見、予防対策につながるよう先行自治体の事例等を勉強して参考にし、ヒアリングフレイルチェックの導入を進めていく。

答 太田市長

①集いの場等を通じて専門職が筋力アップや口腔ケアについてフレイル予防講座として実施しているが、耳の関係に特化したヒアリングフレイルに対する取り組みは現時点では行っていない。

②難聴の高齢者の早期発見、予防対策につながるよう先行自治体の事例等を勉強して参考にし、ヒアリングフレイルチェックの導入を進めていく。



久世高校跡地の利用計画

久世体育館、典武館、久世公民館が仮移転します

MIT ご視聴下さい 真庭いきいきテレビ

真庭市議会定例会は真庭いきいきテレビ「MIT」のサブチャンネル（122）で生中継しています。一般質問や各常任委員会付託案件審査は、録画して後日放送しています。また、GIKAIHEADLINEは、真庭いきいきテレビYouTubeチャンネルで定例会閉会2週間後から2週間視聴できます。



久世エスパランド北東にあるMIT局舎 鍋屋

資料提供：総合政策部・教育委員会

市民の広場

議会広報

◎浅野 和昭 ○森脇 正和
氏平 篤正 加藤 大悟
西田 文子 森田 敏久

ここは市民みんなで
つくるページです
敬称略

▲今年は巳年 高岡神社(北房)の神木 森西氏 獅子舞▶



醍醐桜よるあかり T.M.森



お礼のみかん BUN



▶白熱する久世だんじり喧嘩 浅



▲秋の実り D.K.



T.S.▶

声

●家庭ごみの持ち込み処理手数料が現行の約3倍に。なぜここまで増額になるのか?「資源化の推進や受益者負担の公平化を図るため」と広報に。我々市民には全くわからない。議会にはどのような説明及び協議がなされたのか。横山 健 ●臨時会の事、高校存続へ2億円基金、解体工事、よくわかりました。毎回、表紙は目を引きます。写真をたくさん使い見やすいです。裏の顔写真はやっとアレですね。 山田静江



◀嫁とスカイダイビング ARI



◀まにぞうと下蒜山 カタクリ



トラックとわにと 武岡大真



立ち看板To

元日の後楽園 氏▼



◀I ♥ 上田村 Chura.mika

募集

絵画、イラスト、書、写真などを募集しています。住所、氏名、電話番号を書いてください。ペンネームを希望される場合も連絡先と氏名が書いてあることが必要です。声は氏名を載せることにしています。 応募先▶真庭市議会宛先:20ページの帯欄に記載しています。

文教厚生委員会が市内現地視察

11月7日、赤野地区の真庭市くらしの循環センター（まにくるーん）を施設見学し、処理管理棟で資源ごみの分別などの説明を受けました。資源ごみに貝殻、調味料の袋、薬の容器、麦茶パック、輪ゴム、造花など実際に混ざっていたものを見学しました。また、真庭市中央食育センターでは調理場の説明を受けたのちに給食を試食しました。衛生面やアレルギー、カロリーに配慮して作っている給食に感謝の気持ちをもっておいしくいただきました。



ジャージー牛を使った290円の給食 中央食育センター

議会講演会に250人参加

10月12日、勝山文化センター・ポンテホールで河合敦氏を招き「人生を豊かにする幕末の偉人に学ぶ生き方」と題して講演会を開催しました。

河合氏は、都立高校や私立高校の教員などを経て現在、多摩大学客員教授、早稲田大学非常勤講師を務める。また、歴史研究家として日本全国で多数講演を行いテレビ出演も多数あります。当日は、幕末の偉人、勝海舟、西郷隆盛、坂本龍馬の功績を紹介。これを今の人々がどう活かすかを話されました。参加者は、250人です。

議員研修会で地方財政を学ぶ

10月23日に地方議員研究会統括コンサルタント川本達志氏を招き、予算制度と地方財政をテーマに研修を受けました。予算は、事務事業の成果目標を考え財源を確保するため、成果の根拠は重要となる。決算から課題を見つけ、あるべき姿を実現できるよう改善案を考え、提言していくことが政治家の仕事である。市の行政経営のPDCAサイクルに、議会の予算・決算審査を有効に取り組むことが必要であると学びました。



議員研修会の様子 真庭市役所4階

真庭高校



- ・真庭高校を廃校にしてほしくない・生徒が仲が良く元気で活気がある・企業と一緒に商品開発ができる・地域との連携がある・駅にフリースペースを作してほしい・100均が有ったらいいな・帰りのバスやJRの本数を増やしてほしい・交通系ICカードをJRで使えるようにしてほしい・他のクラスや他校との交流をしたい・食農科の圃場を増やしてほしい（西田）
- ・各常任委員会の開催状況は議会ホームページでご覧いただけます。

高校生の意見

勝山高校蒜山校地



11月15日産業建設常任委員会は、勝山高校蒜山校地で、真庭市を「住み続けたい街」にするためには何が必要かをテーマに意見交換を行いました。主な意見は、以下の通り。

- ・バスの便数が少ないので不便である
- ・働く場所が少ない。働く場所が欲しい
- ・夜になると暗い場所が多い。街灯を増やして
- ・自然が豊かで、地域の人が優しい
- ・資格を取って真庭で働く（森脇）

勝山高校



- ・英語圏へ留学したい・校内に電波の悪い所がある・進路指導をしてくれるが…・部活の遠征補助・網戸が無い・真庭市の税金で建てた蒜山校の寮に市民が入れない・勝山高の寮も古い・生徒会予算の増額・夢現プロジェクトが大切・目木以外にも工業団地を・渋滞する所がある・JRの便が少ない・仕事の紹介をして・図書館近くに公園を・放課後集える場所がある・若者の遊ぶ所や楽しめる所が少ない・暖房費を増額・街灯を増やす・真庭に人を呼ぶイベント・2億円基金で復興ボランティアに行く（氏平）

GIKAI NO UGOKI

議会の動き

10月 11月編

東京日本広報協会で広報研修



渡邊昭彦常務(中央)の特別講義を聞いた後、記念撮影 新宿区

議会広報編集特別委員会が見識を高める為に(一社)日本広報協会、(株)会議録センター、東京都議会へ。

レイアウトの役割と目的は市民に正確に情報を伝えるため、結論を先に書いて分かりやすくするための結・起承転の構成、客観的見出しの付け方、余白の重要性と効果的な使い方、使用する用字用語の統一、市民が求めている情報、写真の人物の向きやトリミングの手法などを学びました。都議会では議会の権限、議決、議案成立までの流れの展示パネル等を見学しました。

議会広報紙は議会と市民の良い関係づくりが最大の目的です。議会での活動が伝わる読みやすい広報紙を作りたいと思います。

総務委員会が神奈川県へ

横浜市では「消防団の報告事務DX化」について。スマホアプリ【消防団ワークス】を開発し、令和4年12月、6消防団で先行開始。活動報告機能は災害・訓練、各団員の活動実績の報告書の確認・承認を行う。茅ヶ崎市では「クラウド型電子契約システム」について。電子契約とは改ざんが不可能、あるいは検知できる形での電子署名(本人確認証明)を付与した「契約書の電子データ」の作成をもって法的に有効な契約書として成立させるもの、など研修しました。



消防団ワークスの研修 横浜市

産業建設委員会が北海道へ

10月28日～30日、北海道石狩市と当別町に行政視察を行いました。石狩市は地震による長期停電の経験があり災害時孤立する可能性があるため、太陽光発電の余剰電力で水素を製造貯蔵し、停電時水素から電気を製造し72時間送電可能な送電網を構築しています。

当別町は寒冷地のため、石油によるエネルギー消費が多く、ゼロカーボンの観点から地中熱を利用し夏は冷房、冬は暖房として、公共施設などにエアコンと同じ原理で利用していました。



再生エネルギーの地産地活 石狩市

ホームページをご覧ください



ホームページ



フェイスブック

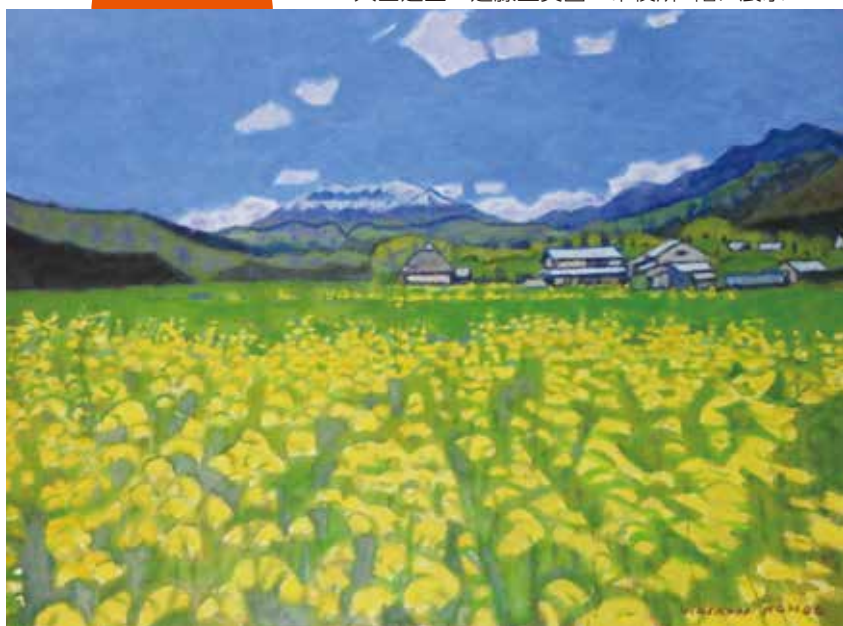
6月定例会の請願と陳情の受付は4月30日(水)までです。様式などの問い合わせは議会事務局までお願いします。ただし、土日祝日等の市役所の閉庁日は除きます。市政などについての意見や要望があるときは、誰でも請願や陳情を議会に提出することができます。

請願は、議員の紹介を必要とするのに対し、陳情の場合は議員の紹介は必要ありません。

6月定例会の請願・陳情は 4月30日(水)まで

すよと一枚

大山遠望 近藤正美画 市役所4階に展示



3月定例会は

2月21日(金)から3月13日(木)



まにぞう

2月21日(金) 本会議(開会・議案上程、提案説明)

26日(水) 本会議(一般質問)

27日(木) 本会議(一般質問)

28日(金) 本会議(一般質問・議案質疑)

3月3日(月) 4日(火) 5日(水) 常任委員会

6日(木) 7日(金) 予算審査特別委員会

13日(木) 本会議(委員長報告・採決・閉会)

■会議は通常午前9時30分に開会します。■正式には2月12日(水)の議会運営委員会で決定します

GIKAI QUIZ

ざかいクイズ

正

解者の中から20人に「ARTな紅茶」が当たります。はがきに答えとあなたの住所・氏名を本ページ左欄に記載している真庭市議会までお送りください。当選者の発表は商品の発送をもって代えさせていただきます。締切…2月28日(金)消印有効。

前号の応募総数は46通で、正解者は45人でした。ご応募ありがとうございました。

問題 真庭市長、市議会議員選挙の投票日は

○月 ○日



ARTな紅茶 灯心会

真庭市議会議員選挙

投票日 4月13日(日)
告示日 4月6日(日)
定数 22人
報酬 35万円/月

真庭市長選挙

投票日 4月13日(日)
告示日 4月6日(日)
給料 88万円/月

選挙



問 真庭市選挙管理委員会 ☎0867-42-1072

立候補予定者説明会があります。詳細は行政広報紙をご覧ください。

声

昔読んだ「豊臣秀吉」山岡荘八のなかに正確ではないがこんなフレーズがあった。良い政治とは民衆の望むもの(声)を行うのではなく、民衆の思ってもみなかったことを行うのが良い政だと秀吉が語る場面が妙に記憶に残っている。

先日、広報委員会の視察研修に行った。ノイジーマイノリティ(声だけ大きい少数派)が市民の声だと勘違いすることがあると。情報発信を積極的に行っているのは一割にも満たない。炎上騒ぎを起こしているのは利用者の0.5%だという説もある。反対語でサイレントマジョリティ(静かな多数派・物言わぬ多数派)という言葉がある。ノイジーに惑わされずサイレントな人たちの声を本当は拾い上げていかなければとつくづく思う。

美声・歓声・名声・神の声・天の声・国民の声・市民の声・声かけ・声がかかる・声色・濁声・罵声、声を出せない少数派がいることもしっかりと認識せねばと思う。

さて、市民の思いもよらぬ素晴らしい施策が始まるのか。またマイクで大きな声を出す4年目の春が来る。(森田)

議会おもしろ話